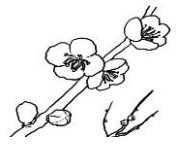




図書だより

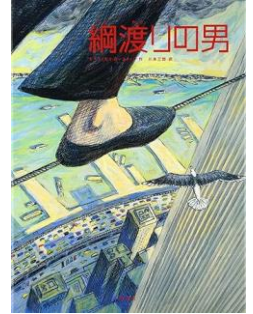
2月



令和6年2月
長岡京市立長岡第六小学校
図書通信

『挑戦することが人生だから』

秋の読書週間で阿部教頭先生がおすすめして下さった『綱渡りの男』(モーディカイ・ガースティン/小峰書店)を1月の図書の時間に読み聞かせをしました。この絵本は、フランス人の大道芸人フィリップ・プティが、1974年8月7日にニューヨークのワールドトレードセンタービルの「ツインタワー」の間をたった一本のワイヤーロープでつなぎ、命綱なしで渡った“実話”を基にしたお話です。当時、世界一の高さを誇るツインタワーでの綱渡りは、無許可の違法行為であり、命を落とす危険さもありました。ところが、そんな彼に賛同する仲間との協力を得て夢を実現することができました。フィリップは、タワーの屋上で警官たちが待ち構える中、細いロープの上を行ったり来たり、地上411mの空中散歩を45分間行った後、逮捕されます。しかしのちに彼の挑戦は、「史上最も美しい犯罪芸術」と語り継がれています。彼は、なぜこんな無謀な挑戦をしたのか?と聞くと、ただ「挑戦することが人生だから」と言ったそうです。彼の挑戦は、人が生きるこの意味は、何なのか?考えさせられます。お金でもなく、名声でもなく、ただ自分の夢のために生きる彼の生き様からなにか学べるかもしれません。みなさんも図書室で自分の人生を変えるような一冊をさがしてみませんか?



図書室からの大事なお知らせ

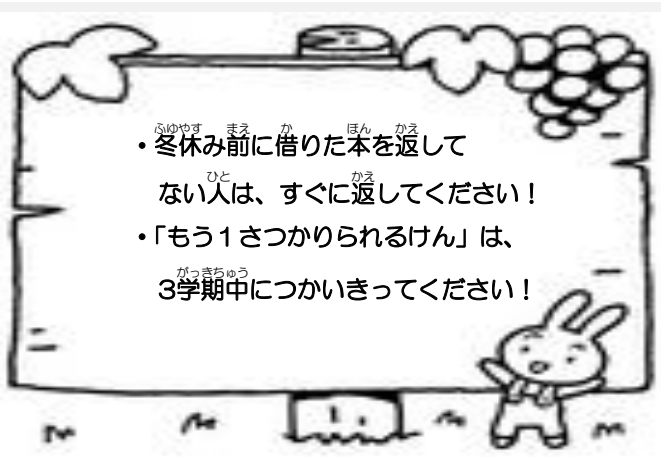
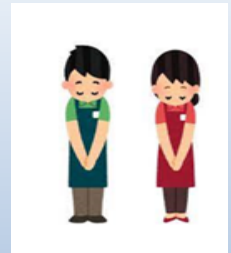
3学期の本の返却は、1～5年生は、3月7日(木)まで。
6年生は、3月1日(金)まで!

おくれないように、かならず期限までに返してください!

3月は図書室の本の蔵書点検と本だなの整理をしますので、春休みの貸し出しはありません。

4～6年生のみなさんには、期日の2日前までに返却されていない本については、「返却のお願い」のおたよりをわたします。早めに返却してください。

そして、みなさんのクラスやおうちに、「長岡第六小学校図書室」のハンコがおしてある本がまぎれていないかもう一度確認しておいてください。いつからあるのかわからない本が、まぎれていることもあるかもしれません。もし見かけたら、図書室に届けてくださいね。よろしくお願ひします!



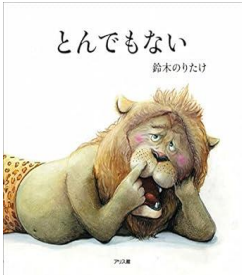
- 冬休みに借りた本を返してない人は、すぐに返してください!
- 「もう1さつかりられるけん」は、3学期中につかいきってください!

2月 図書室カレンダー				
月	火	水	木	金
1/29	30	31	2/1	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
19	20	21	22	23
26	27	28	29	3/1

○ 佐々木先生のいる日



こんげつ ほん
今月のおすすめ本



『とんでもない』 ^{すずき} 鈴木 のりたけ 〈アリス館〉

ぼくってなんのとりえもないどこにでもいるふつうの男の子。サイを「かっこいい！」とうらやましがるけど、サイは、「とんでもない！」と。サイは、ウサギがうらやましくて、ウサギは、クジラが……。それぞれうらやましいところがあるけれど、それはそれで大変！他人の立場に立って自分から見えない部分、知らない部分をユーモラスに描いた作品です。1年1組の中野先生のおすすめの本です。



『地図でスツと頭に入るアジア25の国と地域』 ^{ちず} 井田仁康 〈昭文社〉

アジア25の国と地域について基本情報、地理、歴史、政治、文化、食、有名人などを見て楽しいイラストマップと読みやすい文章で紹介しています。今開催されているサッカー・アジアカップを見てアジアについて詳しく知りたいと思った人は、ぜひ読んでみてください！



『世界を動かすことば 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

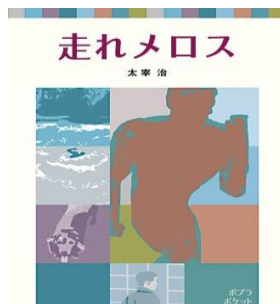
^{ももせ} 百瀬 しのぶ 〈KADOKAWA〉

ウルグアイの大統領・ペペは、奥さんと犬と一緒に古い農場に住み、みんなと同じ生活を送ってる。しかも若いころ、逮捕されたこともあります。だから2012年の国際会議でペペが壇上にあがったとき、その場のだれもが、彼のスピーチが世界中に大衝撃を与えるとは、予想もしていませんでした。世界一貧しい大統領が教えてくれる本当に大切なこと。



『人物で探る! 日本の古典文学 清少納言と紫式部』 ^{こくどしやへんしゅうぶ} 国土社編集部 〈国土社〉

人物を切り口に、その時代の文学作品を読み解く、日本の古典文学シリーズ。平安時代の二大女流作家、清少納言と紫式部。その代表作の『枕草子』『源氏物語』の原文の一部とともに解説しています。今年のNHK大河ドラマ『光る君へ』の主人公の紫式部とライバルの清少納言をより深く知りたい人は、必見です！



『走れメロス』 ^{だざいおさむ} 太宰治 〈ポプラ社〉

妹の結婚準備のためシラクスの市を訪れたメロスは、人づてに聞いた国王による残虐な行いに激怒し、城へ乗り込みます。王に歯向かった罪で、メロスは処刑されることとなります。メロスは処刑を受け入れるものの、妹の結婚式のため3日間の猶予がほしいと述べ、親友のセリヌティウスを人質にすることを提案し、認められます。メロスは、妹の結婚式を見届けて親友の待つ城へ向かって走りだしますが……